

2020年4月10日

関係各位,

日本湿地学会 北海道湿地コンソーシアム  
代表 牛山 克巳

### 北海道湿地フォーラム「シッチ・スイッチ 2020」開催のお知らせ

拝啓 時下、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、このたび『北海道湿地フォーラム～シッチ・スイッチ 2020～』を下記日程で開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。フォーラムのテーマには「北海道における湿地の主流化」をあげ、タイトルには「湿地の劣化と減少というトレンドから、社会全体が湿地の価値を共有し、湿地の多様な生態系サービスを持続的に利用する方向に”Swich”（転換）する」というメッセージを込めました。道内の湿地に関わる全てのみなさまと共に、北海道の湿地の祭典にできればと考えております。

新型コロナウイルスの影響が深刻化している昨今ですので、開催については今後の状況を見ながら慎重に検討してまいります。秋には収束していることを願って準備を進めていますので、開催にあたってはぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

#### 記

1. 日時 2020年10月24日（土）～25日（日）
2. 場所 札幌市民交流プラザ（札幌市中央区北1条西1丁目）
3. 主催 北海道湿地コンソーシアム、北海道、北海道博物館、公益財団法人北海道環境財団  
協賛 アサヒビール株式会社
4. 内容 別紙参照
5. URL <https://www.hokkaidoramsarnetwork.com/hokkaido-wetland-forum>

## 北海道湿地フォーラム ～スイッチスイッチ2020～



日時：2020年10月24日（土）～25日（日）

場所：札幌市民交流プラザ（札幌市中央区北1条西1丁目）

主催：北海道湿地コンソーシアム、北海道、北海道博物館、  
公益財団法人北海道環境財団 協賛：アサヒビール株式会社

### Main Theme

湿地の劣化と減少というトレンドから脱却し、社会全体が湿地の価値を共有し、湿地の多様な生態系サービスを持続的に利用する方向に“Switch”（転換）する、「北海道における湿地の主流化」がテーマです。

### Program

サイエンスセッション、ポスター・ブースセッション、エンターテインメントセッションの3部構成です。

サイエンスセッションでは湿地スペシャリストの「知の融合」を図り、ポスター・ブースセッションでは湿地で活動する多様なプレイヤーの「交流とネットワーク形成」を図ります。最後に、エンターテインメントセッションで、これまでにない新しい形で、広く社会に向けた「湿地からのメッセージの発信」を図ります。

#### ▶ Day 1

9:00-12:00 エクスカーション

13:00-15:00 サイエンスセッションA「湿地の自然と生きもの」

15:30-17:30 サイエンスセッションB「湿地と人・社会」

18:00- 懇親会

#### ▶ Day 2

9:30-10:30 総合サイエンスセッション

10:30-12:00 ポスター・ブースセッション

13:00-16:00 エンターテインメントセッション

### Science Session

湿地の生物多様性、生態系サービス、地域や社会との関りについて、過去からの変遷、現状、課題を整理し、望むべき将来像について提言を行います。セッションA、セッションB、総合セッションの3部構成となっています。

#### セッションA「湿地の自然と生きもの」

- 湿原のスペシャリスト 富士田 裕子さん（北海道大学・植物園）
- 湖沼のスペシャリスト 三上 英敏さん（北海道立総合研究機構）
- 浅海域のスペシャリスト 仲岡 雅裕さん（北海道大学・厚岸臨海実験所）
- イキモノのスペシャリスト 大原 昌宏さん（北海道大学・総合博物館）

#### セッションB「湿地と人・社会」

- 河川のスペシャリスト 中村 太士さん（北海道大学・農学研究院）
- 流域・漁業のスペシャリスト 新谷 哲也さん（網走川流域の会）
- SDGs/ESDのスペシャリスト 金子 正美さん（酪農学園大学・農食環境学群）
- 環境社会システムのスペシャリスト 吉中 厚裕さん（酪農学園大学・農食環境学群）

#### 総合セッション「湿地のミライ」

島谷幸宏先生（九州大学・日本湿地学会会長）とセッションA・Bの座長（富士田先生と中村先生）の鼎談方式。司会進行は牛山。会場を巻き込みながら、北海道における湿地と社会の将来像、湿地と生物多様性の主流化に向けた道筋について議論します。

## 北海道湿地フォーラム ～シッチスイッチ2020～

### Poster & Booth Session

道内の湿地で活動する全てのみなさまに開かれたセッションです。湿地における調査研究活動だけでなく、市民団体、企業、行政などによる保全や再生の取り組み、教育や普及啓発の取り組み、観光や商品開発の取り組みなど、様々な活動や取り組みの発表をお待ちしております。ポスターパネルと展示ブース（長机1台）をご用意します。学生ポスター賞、ベストポスター賞の選考も行います。

### Entertainment Session

ススキノのとあるバーに集まる湿地な人々。そこで繰り広げられるのは…？トークあり、コントあり、音楽あり。気づけばあなたも湿地フォーリンラブ。無味乾燥した現代社会を潤すシッチエンターテインメントをお届けします。出演：小橋亜樹（CREATIVE OFFICE CUE）、アップダウン（吉本興業株式会社）ほか

### Field Trip to Ishikari Wetlands

札幌市に残された最後のミズゴケ湿原、篠路福移湿原を訪問します。市内唯一のカラカネイトトンボの生息地としても知られる篠路福移湿原ですが、原野商法の対象だったことから、地権者が不明のまま不法に残土の受け入れ場所となり、大規模な埋め立てが行われています。湿原の保全に奮闘する関係者の解説を受け、道内の湿地が直面する現実を視察します。一方、夕張川では、かつての湿原に由来する河川敷の泥炭地を活用し、北海道開発局の河川事業としてミズゴケ湿原の作成を目指しています。現在は目にする機会がほとんど失われてしまった希少な植生の再生に向けた取組を視察します。

※時間の都合上視察予定地をひとつにするかコース分けかもしれません。

### シッチ・スイッチ実行委員会

牛山克巳（北海道湿地コンソーシアム・代表）、吉田磨、山田浩之、矢部和夫（ウェットランドセミナー）、内山到（北海道環境財団）、小本智幸、寺島淳一、鈴木玲（石狩川流域湿地・水辺・海岸ネットワーク）、小西敢（北海道ラムサールネットワーク）、更科美帆（北海道外来カエル対策ネットワーク）、表溪太（北海道博物館）、釧路国際ウェットランドセンター、釧路市、北海道

※主催団体である「北海道湿地コンソーシアム（Hokkaido Wetland Consortium）」は、北海道における湿地の主流化のための湿地の分野横断的研究と、湿地の保全再生、持続的利用およびCEPA活動に関わる協働取り組みを推進することを目的に発足した日本湿地学会の部会です。メンバーは道内の主要な湿地関連ネットワークであるウェットランドセミナー、釧路国際ウェットランドセンター、北海道ラムサールネットワーク、石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク、北海道外来カエル対策ネットワーク、北海道環境財団の代表者または担当者で構成されています。

【各種お問い合わせ】 牛山克巳 [mwwc@dune.ocn.ne.jp](mailto:mwwc@dune.ocn.ne.jp)

# 北海道には 湿地が必要だ！

本フォーラムは、アサヒビール株式会社の『鶴の恩返しキャンペーン』の支援を受けて実施いたします。

シッチ・スイッチ特設サイト  
参加申し込みは2020年6月開始予定！

